

室名	ゾーニングA	ゾーニングB	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他	基本的性能						
									天井高 (m)	耐火	防犯	飲食	備考		
【施設:新博物館】	来館者エリア／来館者有料エリア／業務エリア	常設展示エリア／特別展示用エリア(公開承認)／調査・研究エリア	・耐火耐震構造 ・地下部分の底盤及び外壁面に防水措置を施す。 ・屋根に設置する排水溝の清掃などの維持管理が容易に行えるように考慮する。 ・展示区画、保存区画、管理区画を明確に分け、展示区画と管理区画は動線を分離する。 ・断熱効果を最大限に効かせ、光熱費の負担を軽減すること					・空調系統は展示室と収蔵庫を分離する。 ・照明は紫外線をできる限り除去した機器とし、また、赤外線を出さない機器とすることで温度上昇を避ける。 ・詳細や当欄に記載のない什器・備品は別添資料3「什器・備品リスト」を参照	特別収蔵庫・前室・分析研究室・探求型展示「加曾利ラボ」・没入型展示「縄文体験空間」・特別展示室・コレクション展示室に隣接する箇所、水または文化財に影響を及ぼすおそれのある消火剤を使用する場合は、これらの諸室に対して流出することが無いよう配慮する。	合計 4000 (一般収蔵庫メザニ ラック面積を除く)					
【収蔵】										630					
収蔵庫 共通	業務エリア	常設展示用エ リア	・トラックヤードから収蔵庫、収蔵庫から展示室までの動線は、段差がなく傾斜は最小限とし、通路幅(2m以上目安)を確保する。 ・各収蔵庫の防火区画は、個々に独立区画とする。 ・最上階に設ける場合は、日射の影響を考慮する。	・火元近接厳禁 ・搬入から格納までのゆとりある動線・幅員の確保		・床材、壁材などは油や粉塵等の発生を恐れのないものであり、特に内装材は吸湿性の優れたものを採用する。	・二層構造 ・24時間温湿度管理 ・点検、故障、停電時などで空調が停止しても急激な温湿度変化が起こらない構造とする。 ・空調は二重壁内部にも及ぶように配慮する。 ・漏電防止のため、収蔵庫内の機器類の電源は収蔵庫外から切れるように設計する。	・詳細や当欄に記載のない什器・備品は別添資料3「什器・備品リスト」を参照	特別収蔵庫・前室・分析研究室・探求型展示「加曾利ラボ」・没入型展示「縄文体験空間」・特別展示室・コレクション展示室に隣接する箇所、水または文化財に影響を及ぼすおそれのある消火剤を使用する場合は、これらの諸室に対して流出することが無いよう配慮する。						
一般収蔵庫	業務エリア	常設展示用エ リア	・メインの収蔵庫であり、日常的に出入りする。 ・加曾利貝塚の出土資料のうち、展示・閲覧対応の資料を中心に収蔵 ・収蔵庫扉のサイズはH2500、W1500程度とする。	・収蔵・発掘資料整理室からバックヤードを介した動線を確保する。 ・研究室と近接させる。		・温湿度管理は年間を通して28℃以下、湿度55%±5%とする。 ・収蔵庫扉を設ける。 ・積層設備(メザニラックまたは積層棚)を設ける。 ・収蔵棚(1500×600×2100mm スチール製 中壁棚 棚板耐荷重300kg)240台を想定する。	・床面または収蔵棚を2層とし、上階にも円滑に収蔵品を搬入できるように配慮する。 ・収蔵棚には地震による転倒・落下を防ぐための防止柵等を設ける。	・詳細や当欄に記載のない什器・備品は別添資料3「什器・備品リスト」を参照	特別収蔵庫・前室・分析研究室・探求型展示「加曾利ラボ」・没入型展示「縄文体験空間」・特別展示室・コレクション展示室に隣接する箇所、水または文化財に影響を及ぼすおそれのある消火剤を使用する場合は、これらの諸室に対して流出することが無いよう配慮する。	360 (メザニラック面積 を除く)	5.0 以上	○ 1時間	3	×	
写真図面収蔵庫	業務エリア	常設展示用エ リア	・写真や図面・デジタル記憶媒体などの二次資料の保存	・一般収蔵庫内にスペースとして設け、間仕切壁は設けない。		・別添資料3「什器・備品リスト」に従い、ドライキャビネット・収蔵棚を設ける。 ・ドライキャビネットにより温湿度管理を行う。	・ドライキャビネット・収蔵棚には地震による転倒・落下を防ぐための防止柵等を設ける。	・詳細や当欄に記載のない什器・備品は別添資料3「什器・備品リスト」を参照	特別収蔵庫・前室・分析研究室・探求型展示「加曾利ラボ」・没入型展示「縄文体験空間」・特別展示室・コレクション展示室に隣接する箇所、水または文化財に影響を及ぼすおそれのある消火剤を使用する場合は、これらの諸室に対して流出することが無いよう配慮する。	一般収蔵庫に含める	一般収蔵庫による	○ 1時間	3	×	
特別収蔵庫・前室	業務エリア	特別展示用エ リア(公開承認)	・公開承認施設としての機能し得る空間とする。 ・特に厳密な温湿度管理が必要な資料を保管する。 ・恒温恒湿空調、ガス消火設備、収蔵庫扉、収蔵棚を備える。 ・収蔵庫扉のサイズはH2500、W1500程度とする。 ・前室と収蔵庫の扉はIPMに対応、段差などなしのフラット構造とする。	・一時保管庫と隣接させる。 ・特別収蔵庫の前室は、一時保管庫又は一時保管庫の前室と共有化してもよい。 ・荷解室、展示準備室と近接させる。 ・企画展示室・コレクション展示室との間に動線を確保し、資料が安全に移動できるように配慮すること。 ・隣接諸室及び建物外からの室内温湿度への影響を低減する様、配慮すること。 ・日照条件や方位に留意し、室内の温湿度環境を安定化させること。	調湿性能を有する内装材を利用	・収蔵庫扉を設ける。 ・収蔵棚(木製)を設ける。 ・国の公開承認施設の要件に合致すること。 ・室温環境は夏季24℃±2℃、冬季20℃±2℃を目安とし、季節による温度変動は緩やかなものとなるようにすること。 ・相対湿度は年間を通して55%±5%を維持すること。	・収納棚は1層の構成とする。	特別収蔵庫・前室・分析研究室・探求型展示「加曾利ラボ」・没入型展示「縄文体験空間」・特別展示室・コレクション展示室に隣接する箇所、水または文化財に影響を及ぼすおそれのある消火剤を使用する場合は、これらの諸室に対して流出することが無いよう配慮する。	90	-	○ 2時間	4	×		
一時保管庫・前室	業務エリア	特別展示用エ リア(公開承認)	・他館からの借用資料の一時保管、温湿度環境に適応させるための慣らしを行う ・恒温恒湿空調、ガス消火設備、収蔵庫扉を備える ・収蔵庫扉のサイズはH2500、W1500程度とする。	・荷解室、展示準備室と近接させる。 ・特別収蔵庫と隣接させる。 ・一時保管庫の前室は、特別収蔵庫の前室と共有化してもよい。ただし、一時保管庫の要求水準を満足すること。 ・隣接諸室及び建物外からの室内温湿度への影響を低減する様、配慮すること。 ・日照条件や方位に留意し、室内の温湿度環境を安定化させること。	調湿性能を有する内装材を利用	・収蔵棚を設ける。 ・温湿度管理は年間を通して28℃以下、湿度55%±5%とする。	・収納棚は1層の構成とする。	特別収蔵庫・前室・分析研究室・探求型展示「加曾利ラボ」・没入型展示「縄文体験空間」・特別展示室・コレクション展示室に隣接する箇所、水または文化財に影響を及ぼすおそれのある消火剤を使用する場合は、これらの諸室に対して流出することが無いよう配慮する。		-	○ 2時間	4	×		
展示エリア搬入口 トラックヤード (屋内)	業務エリア	特別展示用エ リア(公開承認)	・博物館資料、他館からの借用資料などの搬入を行う。 ・搬入口は専用とする、4tトラック(ロング)を1台収容できるトラックヤードを設け、閉鎖空間で資料の搬入を行うために必要な設備を備える。 ・外気の影響や虫の侵入を防止する措置を行う。 ・搬入に供するプラットホームを設け、トラックの荷台高さや近づけるなど、搬出入の利便性に配慮した計画とする。 ・トラックヤードからプラットホームへはスロープを設ける。 ・プラットホームと荷解室には段差を設けない。 ・トラックヤード入口、トラックヤードと荷解室の間にそれぞれシャッターの設置が望ましい。 ・搬入時にもIPMを意図する。 ・出土資料などを扱う研究エリアの搬入口とは別に設ける。	・屋外と荷解室と隣接 ・利用者との進入動線の確保。					特別収蔵庫・前室・分析研究室・探求型展示「加曾利ラボ」・没入型展示「縄文体験空間」・特別展示室・コレクション展示室に隣接する箇所、水または文化財に影響を及ぼすおそれのある消火剤を使用する場合は、これらの諸室に対して流出することが無いよう配慮する。		-	-	3	×	
荷解室	業務エリア	特別展示用エ リア(公開承認)	・資料の搬出入や荷解き作業を行う。	・トラックヤードと隣接					特別収蔵庫・前室・分析研究室・探求型展示「加曾利ラボ」・没入型展示「縄文体験空間」・特別展示室・コレクション展示室に隣接する箇所、水または文化財に影響を及ぼすおそれのある消火剤を使用する場合は、これらの諸室に対して流出することが無いよう配慮する。		-	-	3	×	
作業室	業務エリア	特別展示用エ リア(公開承認)	・受入れ資料の確認、登録作業、資料貸出に係る梱包作業等を実施する。 ・梱包材等の資材を保管する倉庫を併設する。 ・梱包材の制作・保管を行う。 ・工具棚、作業台を備える。 ・燻蒸等の保管前処理を行う。	・荷解室と隣接					特別収蔵庫・前室・分析研究室・探求型展示「加曾利ラボ」・没入型展示「縄文体験空間」・特別展示室・コレクション展示室に隣接する箇所、水または文化財に影響を及ぼすおそれのある消火剤を使用する場合は、これらの諸室に対して流出することが無いよう配慮する。		-	-	3	×	
作業室用倉庫	業務エリア	調査・研究エ リア	・梱包材等の資材を保管する倉庫を作業室に併設する。						特別収蔵庫・前室・分析研究室・探求型展示「加曾利ラボ」・没入型展示「縄文体験空間」・特別展示室・コレクション展示室に隣接する箇所、水または文化財に影響を及ぼすおそれのある消火剤を使用する場合は、これらの諸室に対して流出することが無いよう配慮する。	作業室に含む	-	-	3	×	

室名	基本的性能 ○:必要 -:不要			建築 ○:必要 -:不要 (建築・電気設備・機械設備共通)								電気設備										機械設備																																																				
	監視カメラ	音環境	重要文化財対応	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーブアラウド	高気密高断熱	その他	備考	照度 lx	演色性 Ra	一般コネク	特殊機器コネク	非常電源(空調)	非常電源(照明・コネク)	TEL	LAN	館内放送音量調節	インターホン呼び出し	映像・音響機器	テゾノ外サイト	空調	夏季空調(上:温度/下:湿度)	冬季空調(上:温度/下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備																																								
	I:特に高い静音性 II:高い静音性 III:一般事務室程度	「国家・重要文化財の公開に関する取捨要項」「文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取り扱いが可能なもの(○)の無い場合でも、施設計画上、該当室の機能を成立させるために必要な場合は対応を要する。	建築構造設計基準の資料(国土交通省 大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和3年版)表4.1積載荷重																					「○」の無い廊下・バックヤードやWC等についても、他室空調の力スケード利用などにより良好な温熱環境を保つ				I (一般開館時間) II (施設管理時間) III (24時間)	下表による				文化財や展示品の保護を目的とする	文化財や展示品の保護を目的とする																																								
【施設:新博物館】																																					<table border="1"> <tr> <td colspan="2">空気清浄度の分類</td> <td>I</td> <td>II</td> <td>III</td> </tr> <tr> <td>粉塵 [mg/m³]</td> <td>0.15以下</td> <td>0.15以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>CO [ppm]</td> <td>6以下</td> <td>6以下</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>CO₂ [ppm]</td> <td>1000以下</td> <td>1000以下</td> <td></td> <td rowspan="4">建築物環境衛生管理基準による</td> </tr> <tr> <td>NH₃(アルカリ性物質) [ppb]</td> <td>30以下</td> <td>30以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>HCOH・CH₃COH [ppb]</td> <td>20以下</td> <td>80以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>酢酸(有機酸) [ppb]</td> <td>40以下</td> <td>170以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ギ酸(有機酸) [ppb]</td> <td>10以下</td> <td>10以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	空気清浄度の分類		I	II	III	粉塵 [mg/m ³]	0.15以下	0.15以下			CO [ppm]	6以下	6以下			CO ₂ [ppm]	1000以下	1000以下		建築物環境衛生管理基準による	NH ₃ (アルカリ性物質) [ppb]	30以下	30以下		HCOH・CH ₃ COH [ppb]	20以下	80以下		酢酸(有機酸) [ppb]	40以下	170以下		ギ酸(有機酸) [ppb]	10以下	10以下		
空気清浄度の分類		I	II	III																																																																						
粉塵 [mg/m ³]	0.15以下	0.15以下																																																																								
CO [ppm]	6以下	6以下																																																																								
CO ₂ [ppm]	1000以下	1000以下		建築物環境衛生管理基準による																																																																						
NH ₃ (アルカリ性物質) [ppb]	30以下	30以下																																																																								
HCOH・CH ₃ COH [ppb]	20以下	80以下																																																																								
酢酸(有機酸) [ppb]	40以下	170以下																																																																								
ギ酸(有機酸) [ppb]	10以下	10以下																																																																								
【収蔵】																																																																										
収蔵庫 共通																																																																										
一般収蔵庫	○	-	-		一般書庫、倉庫等 2層分	-	-						100	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	III	-	-	-	○	○																																								
写真図面収蔵庫	○	-	-		一般書庫、倉庫等	-	-						100	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	III	-	-	-	○	○																																									
特別収蔵庫・前室	○	-	○		一般書庫、倉庫等	-	調湿性能	調湿性能		○		壁床天井 二重構造	100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	24℃± 2℃ 55±5%	20℃± 2℃ 55±5%	○	III	II	-	-	○	○																																									
一時保管庫・前室	○	-	○		一般書庫、倉庫等	-	-			○		壁床天井 二重構造	100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	III	II	-	-	○	○																																									
展示エリア搬入口 トラックヤード (屋内)	○	-	○		自動車車庫 及び自動車通路 (床・小梁用については トラック輪圧の検討を行う)	-	-						150	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																						
荷解室	○	-	○		一般書庫、倉庫等	-	-						150	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																						
作業室	○	-	○		一般書庫、倉庫等	-	-		○				500	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	-																																						
作業室用倉庫	-	-	-		一般書庫、倉庫等	-	-						100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-																																						

室名	ゾーニングA	ゾーニングB	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他	基本的性能 ○:必要 -:不要				
									面積 (㎡) または 収容人数	天井高 (m)	耐火 記載以外にも公開承認エリアとその他のエリアとは建築基準法上の防火区画を行う。	防犯 1:利用者・職員・関連業者 2:職員・関連業者・関係者 3:職員・関連業者(出入り許可)・関係者(出入り許可) 4:限られた職員	飲食
【調査・研究】									320				
研究室	業務エリア	調査・研究エリア	・学芸員、客員研究員が研究活動を行う。 ・6人程度が常駐し、研究活動を行うスペースを用意する。 ・企画展等の展示企画・一部パネル作成にも対応する。	・収蔵エリアに近接。 ・分析研究室の共通化も可能。ただし、面積要件を満足すること。		以下の機器を設置できる空間とする。 ・研究活動用のワークステーション(業務用PCとは別にした調査・研究目的のPC) ・展示制作用の大型プロッター及びプリンター複合機・3Dプリンター ・研究データ用NAS			60	-	-	3	○
ミーティングルーム	業務エリア	調査・研究エリア	・学芸員の会議、研究セミナーなどを開催。 ・オンライン会議ができる設備を備える。 ・作業スペースも兼ねる。企画展等の展示企画・一部パネル作成にも対応。 ・10名程度の休憩スペースに活用。	・研究室に近接する。 ・研究室と同室とすることも可能。		オンライン会議用大型モニターを設置する。			10人程度	-	-	3	○
書庫	業務エリア	調査・研究エリア	・研究図書を保管する。 ・集密書架を導入する。	・研究室に近接または動線を確保する。		・可動式書棚(W900×D510×H2273 4連20列相当)、中置棚(幅1500×奥行620×高1800 棚板耐荷重300kg以上 2台)を設置する。				-	○ 1時間	3	×
収蔵・発掘資料整理室	業務エリア	調査・研究エリア	・収蔵資料の整理、調査、修復作業などを行う。 ・土器・石器等の実測図作成作業を行う。 ・出土資料の分類・接合作業を行う。 ・動物骨・貝類などの分類整理などの諸作業にも対応する。	・一部を加曽利ラボ内のオープンラボとして観覧可能とする。		・大型作業台、PC、プリンタ複合機の設置できる空間とする。 ・天井ダクトレール電源を設置する。 ・5〜10口の水栓を備えた流し台を設ける(シャワーを備える)。				-	-	3	×
研究エリア搬入口	業務エリア	調査・研究エリア	・調査研究エリアへの資料等搬出入口。 ・主に、洗浄前の発掘出土資料や外部収蔵庫からの資料の搬出入に使用する。 ・展示エリアの搬入口とは別に設ける。	・収蔵・発掘資料整理室との動線を確保する。 ・車寄せや停車スペースなど、自家用車による搬入も考慮する。						-	-	2	×
屋外水洗場	業務エリア	調査・研究エリア	・出土遺物・貝サンプル等の水洗を行う。 ・大型の資料や、屋外での洗浄が必要なもの。 ・資料の乾燥場所を設ける	・研究エリア搬入口と近接。		・水栓4口以上を備えた流し台を遺物洗浄用に設ける。シンクは浅めで広いものとする。シャワーを備える。							
分析研究室	業務エリア	調査・研究エリア	・顕微鏡・分析機器を用いた資料の分析を行う。 ・分析に必要な機器や標本収納室を備える。 ・動物骨・貝類や植物遺体などの分類整理を行う。	・研究室との共通化も可能。ただし、面積要件を満足すること。 ・研究室と共通化する場合は、走査型電子顕微鏡は配置しないこととし、別途使用環境を想定すること。		以下の機器の設置できる空間とする。 ・卓上型走査型電子顕微鏡(研究室と共通化する場合は配置しない) ・蛍光顕微鏡 ・実体顕微鏡 ・スライダ生物顕微鏡		・通常時・火災時を問わず、近接・隣接室からの水や消火剤の流入が生じないように配慮する。		-	-	3	×
標本収納室	業務エリア	調査・研究エリア	・動物・貝・植物等の現生標本を保管する。	分析研究室と隣接または分析研究室内に設ける。分析研究室から直接出入りできること。		・24時間空調 温度管理 ・年間を通して28℃以下 湿度55%±5% ・標本庫				-	-	3	×
研究資料庫	業務エリア	調査・研究エリア	・出土遺物・貝サンプル等、調査研究で使用する資料を保管する。 ・日常的に職員と資料が出入りする。 ・利用者から見える面にガラス張りの部分を設け、外部から研究資料庫を観覧可能な計画とする。	・収蔵・発掘資料整理室と隣接 ・一部を加曽利ラボ内のオープンラボとして観覧可能とする。		・収蔵棚(1500×600×1800mm スチール製 中置棚 棚板耐荷重300kg)14台を設ける。		・デン箱FN(参考:第一合成) 1箱 W440×L600mm×H150mm 250箱以上の収容能力		-	-	3	×
保存研究室	業務エリア	調査・研究エリア	・薬品を用いた資料の保存処置や保存に関わる研究を行う。 ・水浸木製品を取り扱う。 ・現生標本の製作を行う。	・収蔵・発掘資料整理室との共通化も可能。ただし、面積要件を満足すること。 ・収蔵エリアと離して配置 ・屋外と直接出入りできる配置とする。		・水道及び水回りを備える。 ・給湯器、冷凍庫、薬品庫等を備える。 ・ドラフトチャンバーを備える。 参考型式:DALTON/DFC11-AA18-HA			1~2人	-	-	3	×
撮影室	業務エリア	調査・研究エリア	・資料の写真撮影を行う ・フォトグラメトリにも対応する ・分析研究室を研究室と共通化する場合、走査型電子顕微鏡を用いた分析研究を行うスペースも確保すること。	・特別収蔵庫・企画展示室と近接し、資料が安全に移動できるよう配慮すること。		・撮影台・照明機材・カメラ用ブームスタンド等のスタジオ設備を備える。(詳細は別添資料3「什器・備品リスト」を参照) ・外光を遮光すること。 ・外部からの振動に配慮すること。 ・分析研究室と研究室を共通化する場合、走査型電子顕微鏡(卓上型)が設置できる空間とすること。				3.8 程度	-	3	×

室名	基本的性能 ○:必要 -:不要			建築 ○:必要 -:不要 (建築・電気設備・機械設備共通)									電気設備										機械設備														
	監視カメラ	音環境	重要文化財対応	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーブアライド	高気密高断熱	その他	備考	照度 lx	演色性 Ra	一般コネク	特殊機器コネク	非常電源(空調)	非常電源(照明・コネク)	TEL	LAN	館内放送音量調節	インターホン・トイレ呼出	映像・音響機器	テゾ・外サイネージ	空調	夏季空調(上:温度 下:湿度)	冬季空調(上:温度 下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備			
		I:特に高い静音性 II:高い静音性 III:一般事務室程度	「国宝・重要文化財の公開に関する取扱い要項」 「文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取り扱いが可能となる ※「○」の無い場合でも、施設計画上、該当室の機能を成立させるために必要な場合は対応を要する。		建築構造設計基準の資料(国土交通省 大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和3年版)表4.1積載荷重																			台数・サイズは、視聴人数や距離に応じて変える	「○」の無い廊下・バックヤードやWC等についても、他室空調の力スカード利用などにより良好な温熱環境を保つ					I(一般開館時間) II(施設管理時間) III(24時間)	下表による	使用料に応じて電気式を可とする	文化財や展示品の保護を目的とする	文化財や展示品の保護を目的とする			
【調査・研究】																																					
研究室	-	III	-	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○		-	-	500	-	○	○	-	○	○	職員用	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	-	
ミーティングルーム	-	III	-	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○		-	-	500	-	○	-	-	-	○	職員用	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	-	
書庫	-	-	-	-	集密書庫	-	-	-	-		-	-	100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	○	-	-		
収蔵・発掘資料整理室	-	III	-	-	事務室	-	-	吸音に配慮	○		-	-	500	-	○	-	-	-	○	職員用	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	○	○	-	-	-	-	
研究エリア搬入口	○	-	-	-	自動車車庫及び自動車通路(床・小梁用についてはトラック輪圧の検討を行う)	-	-	-	-		-	-	150	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
屋外水洗場																																					
分析研究室	-	III	-	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○		-	-	500	-	○	○	-	○	○	職員用	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	○	○	-	-
標本収納室	-	-	-	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-		-	-	100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	III	-	-	-	-	○	○	-	
研究資料庫	-	-	-	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-		-	-	100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	III	-	-	-	-	○	-	-	
保存研究室	-	III	-	-	事務室	汚れをふき取りやすい仕上	汚れをふき取りやすい仕上	吸音に配慮	○		-	-	500	-	○	○	-	○	○	職員用	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	○	○	-	-	-	-	
撮影室	-	III	-	-	事務室	-	-	吸音に配慮	○		-	-	500	-	○	○	-	-	○	職員用	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	-	-	

室名	ゾーニングA	ゾーニングB	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他	基本的性能									
									面積 (㎡) または 収容 人数	天井高 (m)	耐火	防犯	飲食	○:必要 -:不要				
														記載以外にも公開承認エリア とその他のエリアとは建築基 準法上の防火区画を行う。				
【展示】										1110								
展示室 共通	来館者エリア	常設展示エリア	・利用者の興味や利用形態ごとに、複数の順序を選択できるような計画とする。 ・外光の影響を受けない設計とする。															
	探求型展示 「加曾利ラボ」 ・展示室 ・アクティブラボ	有料来館者エ リア	常設展示エリア ・実物資料の展示、考古実験等の体験を行う。 ・温湿度管理空調を備える。 ・実物資料を展示するための展示設備(展示ケース、展示用照明設備等)を設ける。 ・アクティブラボは「加曾利ラボ」展示室の一面に設ける。	・調査・研究エリアからバックヤードを介した動線 を確保する。 ・収蔵発掘資料室、研究資料庫と隣接。 ・縄文体験空間と近接。		・天井ダクトレール電源を設ける。		・通常時・火災時を問わず、近接・隣接室からの 水や消火剤の流入が生じないよう配慮する。		500	3.8 以上	○ 1時間	1	×				
	没入型展示 「縄文体験空間」	有料来館者エ リア	常設展示エリア ・調査・研究の成果に基づき、映像などを用いて縄文時代のムラを再現した 空間で、縄文の暮らし体験を行う ・縄文時代の景観への没入感を演出するため、できる限り天井高を確保 する ・映像主体の展示とする。	・加曾利ラボに近接。						300	3.8 以上	○ 1時間	1	×				
	対話型展示 「未来ラウンジ」	来館者エ リア	常設展示エリア ・利用者と学芸員、利用者同士が語り合う対話の場 ・活動の記録を蓄積し展示するアーカイブ機能を備える。 ・オンラインでの対外的な情報発信やコミュニケーションの拠点として必要 な設備を備える。 ・図書室、レファレンスルームを兼ねる。	・展示ロビー(常設展示室前の来館者滞留場所)と 共通化も可とし、無料の来館者エリアとすることも 可能。		・書架、PC、大型モニターを設置				50	3.8 以上	○ 1時間	1	×				
	企画展示室 ・コレクション展示 室	有料来館者エ リア	特別展示用エ リア(公開承認)	・展示準備室・備品倉庫に隣接する。 ・隣接諸室及び建物外の環境からの室内温湿度へ の影響を低減する様、配慮すること。 ・日照条件や方位に留意し、室内の温湿度環境を 安定化させること。	・大型壁面エアタイトケースが設置できる空間を確保す る。 ・国の公開承認施設の要件に合致すること。 ・室温環境は夏季24℃±2℃、冬季20℃±2℃を目安と し、季節による温度変動は緩やかなものとなるようにす ること。 ・相対湿度は年間を通じて55%±5%を維持すること。 ・利用者動線からのホコリ・虫の侵入防止に配慮する。		・可動式壁で小部屋に区画できるようにすること ・2区画程度での分割使用を想定 ・通常時・火災時を問わず、近接・隣接室からの 水や消火剤の流入が生じないよう配慮する。		210	3.8 以上	○ 1時間	1	×					
展示準備室・備品倉庫	業務エリア	特別展示用エ リア(公開承認)	・展示準備作業を行う。 ・展示備品の保管用倉庫を備える。 ・展示用各種消耗品を保管する。	・企画展示室に近接。 ・バックヤードとの動線を確保する。		・収蔵棚(スチール製 中量棚 棚板耐荷重300kg)を設 ける。				50	3.8 以上	○ 1時間	4	×				
【教育・普及】										250								
講堂	来館者エ リア	常設展示エ リア	・セミナーやワークショップを開催する。 ・映像・音響設備を備える。 ・2クラス(小中学校)同時に利用できる広さを確保する。 ・オンラインで各地を結んで会議などができる設備を備える。 ・講堂内に機材倉庫を設ける。 ・多様な利用に対応できるよう、部屋を2分割程度に分割できる可動間仕 切を備える。			・スクリーン、音響設備を設ける。 ・80人程度の利用を想定した長机・椅子				客席 80人程度	-	-	1	○				
活動ルーム	来館者エ リア	常設展示用エ リア	・博物館友の会、ガイドの会のメンバーや市民研究員の活動スペース。 ・体験活動を行うことも可能。 ・作業机、ロッカー、コピー機等を備える。	・博物館本体に含まず、土器づくり工房と同棟とす ることも可能。						60	-	-	1	○				
【史跡ガイダンス】																		
史跡・コアエリアのガイダンス	来館者エ リア	常設展示エ リア	・史跡全体や見どころの紹介、見学ルート案内などを行う ・プロジェクター・モニターなどで案内・説明が可能なスペースとする。	・エントランスホールとの共通化も可能。									1	○				
【管理】										210								
館長室・応接室	業務エリア	調査・研究エ リア	・館長の執務室 ・応接室を兼ねる。 ・事務室と同室も可能とする。					応接セット						3	○			
事務室	業務エリア	調査・研究エ リア	・事務職員の執務室。4人程度のスペースを設ける。 ・書櫃や複合機等の設置スペースを設ける。							4人程度	-	-	3	○				
会議室	業務エリア	調査・研究エ リア	・事務職員やスタッフの会議を開催。6人程度の会議に対応する。 ・オンライン会議が可能な設備を備える。			オンライン会議用モニターを設置する。				6人程度	-	-	3	○				
スタッフ室	業務エリア	調査・研究エ リア	・民間事業者の事務職員以外のスタッフの執務室。休憩室も兼ねる。	・エントランスホールに近接または動線を確保									3	○				
ガイド待機ルーム	来館者エ リア	常設展示用エ リア	・史跡ガイドや博物館ガイドの待機スペース。	史跡ガイダンスとの円滑な動線を確保						5人程度	-	-	2	○				
警備員室	業務エリア	調査・研究エ リア	・警備員の執務室 ・セキュリティ設備、中央監視設備のほか、警備員の休憩スペースも備え る										3	○				
湯沸室	業務エリア	調査・研究エ リア		事務室に近接		・ミニキッチン							3	○				
更衣室	業務エリア		・男女別に設ける。	事務室に近接		・ロッカー				30人程度	-	-	3	○				
倉庫	業務エリア			事務室に近接									3	×				
ベビースペース	来館者エ リア	常設展示用エ リア	・おむつ替え台及び授乳スペースを設ける。	エントランスホールに近接		・プライバシーに配慮した計画とすること。 ・流し台							1	○				
教護室	業務エリア	常設展示用エ リア	・大人用ベッドを設ける。			・プライバシーに配慮した計画とすること。							1	○				

室名	基本的性能 ○:必要 -:不要			建築 ○:必要 -:不要 (建築・電気設備・機械設備共通)										電気設備										機械設備												
	監視カメラ	音環境	重要文化財対応	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーテン・ブラインド	高気密高断熱	その他	備考	照度 lx	演色性 Ra	一般コケット	特殊機器コケット	非常電源 (空調)	非常電源 (照明・コケット)	TEL	LAN	館内放送音量調節	インターホン・叫出	映像・音響機器	天井・外サテライト	空調	夏季空調 (上:温度) (下:湿度)	冬季空調 (上:温度) (下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備		
【展示】																																				
展示室 共通																																				
探求型展示「加曾利ラボ」・展示室・アクティブラボ	○	II	-	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材	展示会ごとのメンテナンス(レタッチ)がしやすく、汚れやダメージが目立ちにくく耐久性の高いもの	吸音に配慮	-		P	-	150	Ra>90	○	-	-	-	○	○	利用者用	○	-	○	○	○	28℃以下 55±5%	18℃以上 55±5%	○	III	-	-	-	○	○	
没入型展示「縄文体験空間」	○	II	-	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材	展示会ごとのメンテナンス(レタッチ)がしやすく、汚れやダメージが目立ちにくく耐久性の高いもの	吸音に配慮	-		P	-	qa 150	Ra>90	○	-	-	-	○	○	利用者用	○	-	○	○	○	一般	一般	○	I	-	-	-	○	-	
対話型展示「未来ラウンジ」	-	III	-	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材	展示会ごとのメンテナンス(レタッチ)がしやすく、汚れやダメージが目立ちにくく耐久性の高いもの	吸音に配慮	-		P	図書室・リファレンス機能含む	300	-	○	-	-	-	○	○	利用者用	○	-	○	○	○	一般	一般	○	I	-	-	-	○	-	
企画展示室・コレクション展示室	○	II	○	○	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材	展示会ごとのメンテナンス(レタッチ)がしやすく、汚れやダメージが目立ちにくく耐久性の高いもの	吸音に配慮	-	○	P	-	150	Ra>90	○	-	-	-	○	○	利用者用	○	-	-	-	○	24℃±2℃ 55±5%	20℃±2℃ 55±5%	○	III	II	-	-	○	○	
展示準備室・備品倉庫	○	-	○	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	○	-	-	-	150	-	○	○	-	-	○	○	職員用	-	-	-	-	○	24℃±2℃ 55±5%	20℃±2℃ 55±5%	○	III	II	-	-	-	○	
【教育・普及】																																				
講堂	-	II	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	-	-	吸音に配慮	○	-	階段教室とはしない。	-	500	-	○	○	-	-	○	○	利用者用	○	-	○	-	○	一般	一般	○	I	-	-	-	-	-	
活動ルーム	-	III	-	-	事務室	-	-	吸音に配慮	○	-	-	-	500	-	○	-	-	-	○	○	利用者用	○	-	-	-	○	一般	一般	○	I	-	-	-	-	-	
【史跡ガイド】																																				
史跡・コアエリアのガイド	-	-	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材	-	-	-		P	-	500	-	○	-	-	-	○	○	利用者用	○	-	○	○	○	一般	一般	○	I	-	-	-	-	-	
【管理】																																				
館長室・応接室	-	III	-	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○	-	-	-	500	-	○	-	-	-	○	○	職員用	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	
事務室	-	III	-	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○	-	-	-	500	-	○	○	-	-	○	○	職員用	○	○	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	
会議室	-	III	-	-	事務室	-	-	吸音に配慮	○	-	-	-	500	-	○	-	-	-	○	○	職員用	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	
スタッフ室	-	III	-	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○	-	-	-	500	-	○	-	-	-	○	○	職員用	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	
ガイド待機ルーム	-	III	-	-	事務室	-	-	吸音に配慮	○	-	-	-	500	-	○	-	-	-	○	○	職員用	○	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	
警備員室	-	III	-	○	事務室	-	-	吸音に配慮	○	-	-	-	500	-	○	○	-	-	○	○	職員用	○	○	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-	
湯沸室	-	-	-	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	-	-	-	-	200	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-		
更衣室	-	-	-	-	事務室	-	-	吸音に配慮	○	-	-	-	200	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	一般	一般	○	II	-	-	-	-	-		
倉庫	-	-	-	-	一般書庫、倉庫等	-	-	-	-	-	-	-	100	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
ベビースペース	-	-	-	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	○	-	-	-	200	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	一般	一般	○	I	-	○	○	-	-		
教護室	-	-	-	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	○	-	-	-	200	-	○	-	-	-	○	○	職員用	○	-	-	○	一般	一般	○	I	-	○	○	-	-		

								基本的性能				
								面積 (㎡) または 収容 人数	天井高 (m)	耐火	防犯	飲食
										○:必要 -:不要		
室名	ゾーニングA	ゾーニングB	①特徴・役割・使い方	②近接・隣接条件	③仕上げ	④設備・環境	⑤家具	⑥その他	耐火	防犯	飲食	
トイレ	来館者エリア	常設展示用エリア							-	-	1	-
	多機能トイレ	来館者エリア				・オストメイト対応とする。			-	-	1	-
業務用トイレ	業務エリア	調査・研究エリア							-	-	2	-
【共用(電気・機械)】												
エントランスホール	来館者エリア		・インフォメーションを配置 ・100人程度が余裕をもって滞留できる空間を確保すること。 ・内部の温度環境確保(冷気の侵入防止)に配慮する。(風除室の設置等)	・史跡・コアエリアのガイダンスとの共通化も可能。		・AED・傘立て・コインロッカーを設置 ・貸出用車いす・ベビーカーを用意 ・利用者が休憩できる設備・環境を設ける。 ・受付カウンター			3.8 以上	-	1	×
廊下、階段	業務エリア		・団体の利用者にも対応できる空間を確保すること。 ・文化財の動線は、段差が無く傾斜を最小限とし、通路幅(2m以上目安)を確保すること。					「国宝・重要文化財の公開に関する取扱要項」 「文化財公開施設の計画に関する指針」の内容 に留意すること	-	-	1	×
エレベーター	展示エリア エレベーター	来館者エリア	・ストレッチャーと救急隊員が無理なく入れる面積のエレベーターを設置する。									
	業務エリア エレベーター	業務エリア	・関係者用(人/荷物)エレベーター ・文化財専用のエレベーター(公開承認エリアが複数階の場合) ・積載重量1.3ton以上、かご内寸法幅2m以上・奥行3m以上を確保する。	・文化財用のエレベーターは荷解室に隣接。								
機械室	業務エリア		・中央監視室、空調機械室、電気設備室、給排水設備、ガスボンベ庫、防災設備など	・騒音、振動が発生する場合は展示室及び写場に隣接しない。				・屋外に設備機器を設置することも可能だが、 維持管理を考慮し屋内に設置すべき設備機器 を適切に選択すること。	-	-	3	×
【施設:飲食スペース・ミュージアムショップ】												
飲食スペース	来館者エリア	常設展示用エリア	・乳幼児からお年寄りまで、多世代が快適に過ごせる空間とする。 ・食材のにおいが展示室等に拡散しないよう、しっかりとした排気機能を備え、設置場所も考慮する。	・博物館からの動線に配慮する。		・営業に必要な什器備品、厨房機器等については事業者 が整備する。			-	-	1	○
ミュージアムショップ	来館者エリア	常設展示用エリア	・新博物館の刊行物、体験に必要な道具類、オリジナル商品、土産物などを販売。						-	-	1	-
【施設:土器づくり工房】												
土器づくり工房			・一般利用者による土器づくり体験を行う。 ・一棟/別棟いずれも可とする。 ・建設費の削減を考慮し、木造やプレハブ構造などの平屋(別棟)を想定している。	・別棟とすることを想定している。		・保管室、作業台、乾燥棚、土器サンプル展示台、電気釜等を備える。			50	-	1	-
【施設:屋外エレベーター棟】												
屋外エレベーター・階段			新博物館から加曾利貝塚への動線確保のため、河川堤防の地盤レベルまでの高低差を解消するエレベーター及び階段を整備する。 ・TP+30からTP+15までエレベーターで移動できるようにする。ただし、新博物館建物内のエレベーターでTP+30からTP+20まで移動できる場合は、敷地西側の屋外エレベーターはTP+20からTP+15の移動できるものとする。 ・収容人数は20人乗りとし、車椅子や高齢者等の使用を想定する。 ・屋外階段は疑石階段を想定。	・別棟を想定しているが、博物館と一体とした整備も可能とする。					20人乗り	-	1	-

室名	基本的性能 ○:必要 -:不要			建築 ○:必要 -:不要 (建築・電気設備・機械設備共通)									電気設備										機械設備													
	監視カメラ	音環境	重要文化財対応	二重床	床荷重	床仕上げ	壁仕上げ	天井仕上げ	カーブ・アラウンド	高気密高断熱	その他	備考	照度 lx	演色性 Ra	一般コネク	特殊機器コネク	非常電源(空調)	非常電源(照明・コネク)	TEL	LAN	館内放送音量調節	インターホン・トイレ呼出	映像・音響機器	テゾ・外サイネージ	空調	夏季空調(上:温度 下:湿度)	冬季空調(上:温度 下:湿度)	換気	空調間欠運転	空気清浄度	給排水	給湯	漏水対策	ガス消火設備		
	I:特に高い静音性 II:高い静音性 III:一般事務室程度			「国宝・重要文化財の公開に関する取組要項」「文化財公開施設の計画に関する指針」に記載の文化財の取り扱いが可能なもの(○)の無い場合でも、施設計画・上、該当室の機能を成立させるために必要な場合は対応を要する。			建築構造設計基準の資料(国土交通省 大臣官房官庁営繕部整備課監修 令和3年版)表4.1積載荷重			計画により、意が無い場合は不要			P:ビギナル			職員用はLIGWAN(無線)利用者用は公衆無線LAN			台数・サイズは、視察人数や用途に応じて提案			「○」の無い廊下・バックヤードやWC等についても、他室空調の力スタード利用などにより良好な温熱環境を保つ								I(一般開館時間) II(施設管理時間) III(24時間)		下表による		使用料に応じて電気式を可とする		文化財や展示品の保護を目的とする
トイレ	-	-	-	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	-	-	-	-	200	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	
多機能トイレ	-	-	-	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	-	-	-	-	200	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	
業務用トイレ	-	-	-	-	事務室	汚れを拭き取りやすい素材	汚れを拭き取りやすい素材	-	-	-	-	-	200	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-		
【共用(電気・機械)】																																				
エントランスホール	○	-	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材	-	-	-	-	-	-	300	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
廊下、階段	-	-	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(その他)	滑りにくい素材	-	-	-	-	-	-	150	-	○	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
エレベーター																																				
機械室	-	-	-	-	計画による	-	吸音に配慮	吸音に配慮	-	-	-	-	100	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	
【施設:飲食スペース・ミュージアムショップ】																																				
飲食スペース	-	-	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(固定席)	滑りにくい素材	-	-	○	-	-	-	300	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ミュージアムショップ	-	-	-	-	観覧場その他これらに類する用途に供する建築物の集会室(固定席)	滑りにくい素材	-	-	○	-	-	-	300	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
【施設:土器づくり工房】																																				
土器づくり工房	-	-	-	-	事務室	汚れをふき取りやすい仕上	汚れをふき取りやすい仕上	-	○	-	-	-	500	-	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
【施設:屋外エレベーター棟】																																				
屋外エレベーター・階段	-	-	-	-		滑りにくい素材	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	一般	一般	-	I	-	-	-	-	-		